

製品名: HGF ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12007**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	HGF
別名	HGF; HPTA; Hepatocyte growth factor; Hepatopoietin-A; Scatter factor; SF
遺伝子 ID	3082.0
SwissProt ID	P14210
免疫原	抗血清はヒト HGF の内部領域から合成したペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 500-600

背景

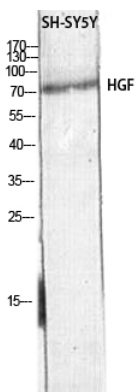
この遺伝子は、肝細胞増殖因子受容体に結合して、多くの細胞および組織における細胞増殖、細胞運動性、および形態形成を制御す

るタンパク質をコードしています。選択的スプライシングにより複数の転写バリエーションが生じ、そのうち少なくとも1つは、タンパク質分解によって α 鎖と β 鎖が生成され、成熟ヘテロ二量体を形成するプレプロタンパク質をコードしています。このタンパク質は間葉系細胞から分泌され、主に上皮由来の細胞に対して多機能サイトカインとして作用します。このタンパク質は、血管新生、腫瘍形成、および組織再生にも関与しています。コードされているタンパク質はセリンプロテアーゼのペプチダーゼ S1 ファミリーに属しますが、ペプチダーゼ活性を欠いています。この遺伝子の変異は、非症候性難聴と関連しています。[RefSeq 提供、2015年11月]機能: HGFは成熟肝実質細胞に対する強力なミトジェンであり、肝栄養因子であると考えられ、幅広い組織および細胞種に対して増殖因子として作用する。プロテアーゼ活性は検出されない。、オンライン情報: 肝細胞増殖因子の項目、類似性: ペプチダーゼ S1 ファミリーに属する。プラスミノゲンサブファミリー。、類似性: PAN ドメインを1つ含む。、類似性: ペプチダーゼ S1 ドメインを1つ含む。、類似性: クリングルドメインを4つ含む。、サブユニット: ジスルフィド結合によって連結された α 鎖と β 鎖の二量体。、

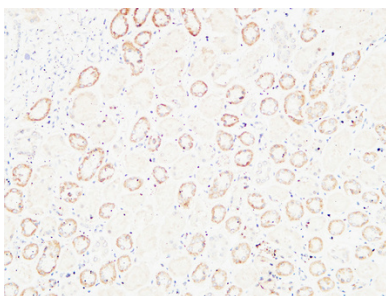
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用; 焦点接着; 癌における経路; 腎細胞癌; 黒色腫;

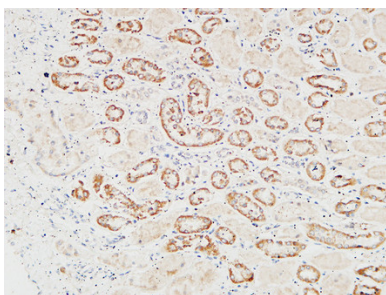
画像データ



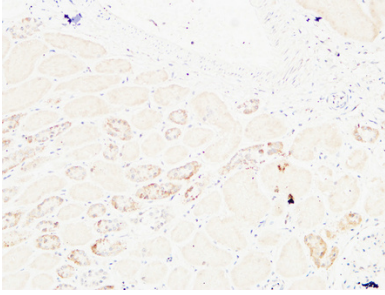
HGF抗体を用いたSH-SY5Yの溶解のウェスタンブロット解析。抗体は1:500に希釈した。二次抗体は1:20000に希釈した。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈した(4°、一晚)。2、高圧高温EDTA(pH8.0)を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を1:200に希釈した(室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を1:200に希釈した(4°、一晚)。2、高圧高温EDTA(pH8.0)を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を1:200に希釈した(室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。